

公益社団法人日本地球惑星科学連合

2019 年度第 5 回理事会議事録

1. 開催日時 2020 年 1 月 21 日(火) 15:00～18:00

2. 開催場所 東京大学地震研究所 2 号館第 2 会議室

3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 13 名 (定足数 11 名 会議成立)

4. 議長 理事 川幡 穂高

5. 出席役員

理事 川幡 穂高
理事 ウォリス サイモン
理事 田近 英一
理事 中村 正人
理事 古村 孝志
理事 阿部 なつ江(Zoom 出席)
理事 市川 洋
理事 小口 千明
理事 倉本 圭(Zoom 出席)
理事 中村 昭子(Zoom 出席)
理事 浜野 洋三
理事 日比谷 紀之
理事 道林 克禎
監事 加藤 照之
監事 鈴木 善和
監事 氷見山 幸夫

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント 高橋 幸弘(Zoom 出席)
大気水圏科学セクションバイスプレジデント 谷口 真人
大気水圏科学セクション幹事 川合 義美
地球人間圏科学セクションプレジデント 奥村 晃史
固体地球科学セクションプレジデント 大谷 栄治(Zoom 出席)
固体地球科学セクションバイスプレジデント 田中 聡

地球生命科学セクションプレジデント 遠藤 一佳
学協会長会議議長 榎並正樹

午後 15 時 00 分、定数に達したので川幡穂高会長が開会を宣した。インターネット電話 ZOOM を利用し、遠隔地から参加する役員が審議に参加できることを確認した。

7. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

第 2 号議案 地球惑星科学総合に関するタスクフォース設置の件

前回理事会での決定の通り、「地球惑星科学総合に関するタスクフォース」を設置することを審議した。委員案を含め承認した。

学術会議との連携も必要で、田近副会長が学術会議を代表しての委員として加わることとなった。

第 3 号議案 その他

(1) 寄附規則の改訂について

古村理事から緊急動議があり、寄附規則の改訂について審議した。継続審議とした。現状の規則では金銭以外について言及がないので、これについての記載を予定している。また、寄附行為を契約ととらえた時、双方の合意がない場合は寄附の後からでも取りやめができるようにする。過去に飲料の提供を受けたこともあり、また現在はビデオクリップを制作して寄附するという打診も受けている。また、公認会計士から、物品等の寄附でも受け入れに当たっては理事会で議論が必要であるとのコメントがあったことが紹介された。

以下の点について議論をした。

1. JpGU は金銭以外の寄附を積極的に受け入れるべきか、および 2. 提供を受ける要件について委員会や理事会で審議するプロセスについての検討を行った。理事会としては規則を整備し、前向きに検討することした。申請があった際に受け入れ条件と適合しているかを理事会で議論することも規則に織り込む。

3. 寄附の見返りとしてスポンサー、あるいは公式スポンサーと名乗ることを認めるかどうかについて検討を行った。公式スポンサーという名称は今後の検討材料とするが、規則を改定後は「寄附者」という名称は用いることは認められる、とした。

4. 2020 年大会でのビデオクリップの寄付については、「日本地球惑星科学連合への寄附」として受け入れることとなった。

(2) 事務局の人事について

日比谷理事から緊急動議があり、事務局職員が 1 名出産休暇および育児休暇を取得するにあたり、事務局体制の増強のために事務局の新規雇用の必要があるとの提案があった。審議の結果これを承認した。

8. 報告事項

1. 川幡穂高代表理事職務報告

川幡代表理事より5月の理事会並びに定時社員総会の日程について報告があった。監査と社員総会のスケジュールにより理事会開催が可能な日程は限られるため協力していただきたい。

2. サイモン・ウォリス理事（グローバル戦略担当）職務報告

ウォリス理事より、グローバル戦略委員会活動報告があった。AGU Fall Meeting への出展の報告があった。また会議の開催報告があり、CGUと3月にMOU締結の予定であること、EGUの状況等、アジア戦略の検討状況等について報告があった。

3. 田近英一理事（広報普及・30周年記念事業担当）職務報告

田近理事より、広報普及委員会の活動報告があった。1. 高校生のための冬休み講座の開催報告について、2. JGL2月号の編集の進行状況について報告があった。

また30周年記念事業の準備状況について報告があった。Webは既に連合ロゴを30周年ロゴに差し替えてあり1年間これを表示する。30周年記念出版やJGLの30周年記念企画も進行している。

合同大会や連合に多大な貢献をされた方に謝意を表すことを検討している。公益法人法等に関わる規則を遵守し、大会時に感謝状を渡すことなどが議論された。対象者の案が示され、意見交換を行った。合同大会や連合に貢献してきた方は多数おられるが、議論の結果、今回は合同大会設立から現在までの期間の前半の貢献を重視する方針となった。また、候補者については、HPなどで周知の上公募するが、対象者の選定や授賞方法についての最終決定はタスクフォースに一任することになった。今後35周年、40周年の機会、あるいは別の方式も含めて、謝意の示し方については、今後検討することとなった。

4. 中村正人理事（財務担当）職務報告

中村理事より、財務委員会の活動報告があった。現在来年度予算をとりまとめ中である。予算案について、オブザーバーより、セクションの位置づけやアクティビティーの見直しを反映した予算案、予算策定プロセスにしてほしいというリクエストがあった。

5. 古村孝志理事（寄附・ジオエシックス担当）職務報告

古村理事より、ジオエシックス関連について報告があった。理事会に先立って会議を開催し、議論した。1. 研究者の責務と公正な研究の推進、2. 健全かつ持続的な地球惑星科学研究の振興、3. 地球惑星科学に関する正しい知識の普及 4. 地球惑星科学と自然・人間社会との関わり 5. 地球惑星科学の発展に向けたオープンサイエンスの推進の5点の行動規範を検討している。また倫理規則の策定を検討している。倫理審査の対象者となっている間は任意退会ができないように定款の変更を検討している。3月の理事会で、規則などを再度議論し、日本地球惑星科学連合大会前にHPなどに掲示する予定である。

エシックスについては、論文詐称などとハラスメントの2種類に大別できるが、後者について、対象として扱う範囲について質問があった。基本的には会員であれば全てのハラスメントを対象とするとの回答があった。窓口を設けて受け付けた場合に対象とする。

6. 西 弘嗣理事（総務担当）職務報告

日比谷理事より代理で報告があった。

前回の理事会以降に連合が承認した後援について報告があった。

選挙の進行状況について報告があった。選挙は予定通り進行しており、1月29日より理事候補者選挙の投票を受け付ける。

7. 大会運営委員会活動報告

浜野理事より、2020年大会の準備状況について報告があった。学生割引を適用するための学割承認の手順を今年から変更した。新規会員については指導教員の承認としてシステムでの作業の必要がある。継続会員については、承認する場合には作業は不必要となり、承認しない場合にのみ

また会費が発生する正会員は、投稿の前に年会費の決済が必要とするように変更した。

8. JpGU-AGU Joint Meeting 2020 大会タスクフォース活動報告

末廣主査に代わって、事務局より2020年大会タスクフォースの活動報告があった。AGUと引き続き連携を深めている。大会概要案内Webページを中国語で作成し公開した。AGU招待のランチタイムスペシャルレクチャーの準備状況について、また大会前日の学生向け企画も検討中である。

9. 教育検討委員会活動報告

市川理事より、教育検討委員会の活動報告があった。1.パブリックセッションの準備状況について、2.第12回地学オリンピックの進行状況について、3.国際地理オリンピックの進行状況について、4.日本学術会議地球惑星科学委員会 地球惑星科学人材育成分科会 地学・地理初等中等教育検討小委員会の活動について、5.全国高校地学教育関係者情報交換会の開催報告と第2回情報交換会の準備検討状況について、6.理数系学会教育問題連絡会シンポジウムについて、それぞれ報告があった。また、教育検討委員会幹事に教員養成等問題検討WGの世話人を追加する予定との報告があった。

特に、JpGU-AGU Joint Meeting 2020大会においてJpGUとAGUが共同開催する教育などに関するユニオンセッションで我が国の活動を報告することについて、強く支持する発言があった。

10. ダイバーシティ推進委員会活動報告

小口理事より、ダイバーシティ推進委員会の活動報告があった。1.2020年大会におけるキャリア相談コーナーの設置方針について、2.2020年大会における委員会主催のセミナーの構想について、3. EGU2020でのダイバーシティ関連セッションについて、それぞれ報告があった。1については企業ときちんと契約を交わしたうえで事業を行う必要があるとの指摘があった。

11. 顕彰委員会活動報告

中村昭子理事より顕彰委員会の活動報告があった。2020年大会での学生旅費助成について2017年ジョイント大会と同様に国内からの参加者はJpGUが、海外からの参加者はAGUが担当することが報告された。

フェロー審査委員会の委員長は理事会の議を経ることとされているため、案が示され、承認した。

12. ジャーナル編集委員会活動報告

倉本理事より、ジャーナル編集委員会の活動報告とPEPSの出版状況についての報告があった。

また川幡会長より、今後のPEPSの方針についての検討状況が報告された。

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後6時00分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

2020年1月21日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第5回理事会

出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	阿部	なつ江	印
出席理事	市川	洋	印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	倉本	圭	印
出席理事	中村	昭子	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	道林	克禎	印
出席監事	加藤	照之	印
出席監事	氷見山	幸夫	印